

★ 創立25周年記念 講演と祝賀会

3月30日（土）総会に続き25周年記念講演と祝賀会をニューヒロデンホテルで開催しました。県連の各会にも呼びかけ、講演会は70数名が来場。全国連盟から河野千鶴子氏（全国理事）を招きました。

河野氏は子育てが終わったと感じた50歳でハイキングを再開し、52歳でブルーポピーに出会ったこと。ネパールヒマラヤの麓で子供時代に感じた風、空気、匂いなどと同じ生活感覚を覚えたことが高所登山のきっかけになったこと。“夢のあるところに道は開ける”と確信を持ち、努力と感動を大切にしてきたこと。モンブラン、エベレスト、キリマンジャロなどに登った体験の紹介とともに、高所登山の面白さを話されました。

労山会員として、また女性の立場から登山について、男性も女性も役割分担をして楽しく登りましょう。感動とは感銘して行動する事であり、夢を持ち続け実現することだ。今までの反省と学

んで得たことを今後の活動に生かしていきたい。今からでも遅くない体力をつけて登って行きましょうと結びました。

また、セブンサミッター（世界7大陸最高峰登頂者）の河野氏に「家を留守にして夫さんの不満はどうなのか」「小柄な体だが、何キロの荷物を背負ってのぼるのか」などの質問が出されました。

引き続きの祝賀会は40名弱の参加者で同じホテルで河野氏を囲んで開催しました。来賓挨拶で県連副会長の安達氏より祝辞をいただき、やまぼうし25年間を振り返りお互いお酒を飲みかわしながら交流を深めていました。後半は河野氏から「山筋ゴーゴー体操」の実技指導をしていただきました。短時間でしたが、参加者が身体のあちこちにストレッチや筋トレの効果を実感することができ、好評を得た講演や祝賀会になりました。（記 坂井エイコ）



講演する河野さん

5月下旬、河野さんはヒマラヤ・ダウラギリ下山中に遭難し、シェルパと共に尊い命を落とされました。貴重な経験を話していただいたことに感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

運営委員会